

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 (社会資本整備総合交付金)

令和 2年 12月 15日

[illegible]

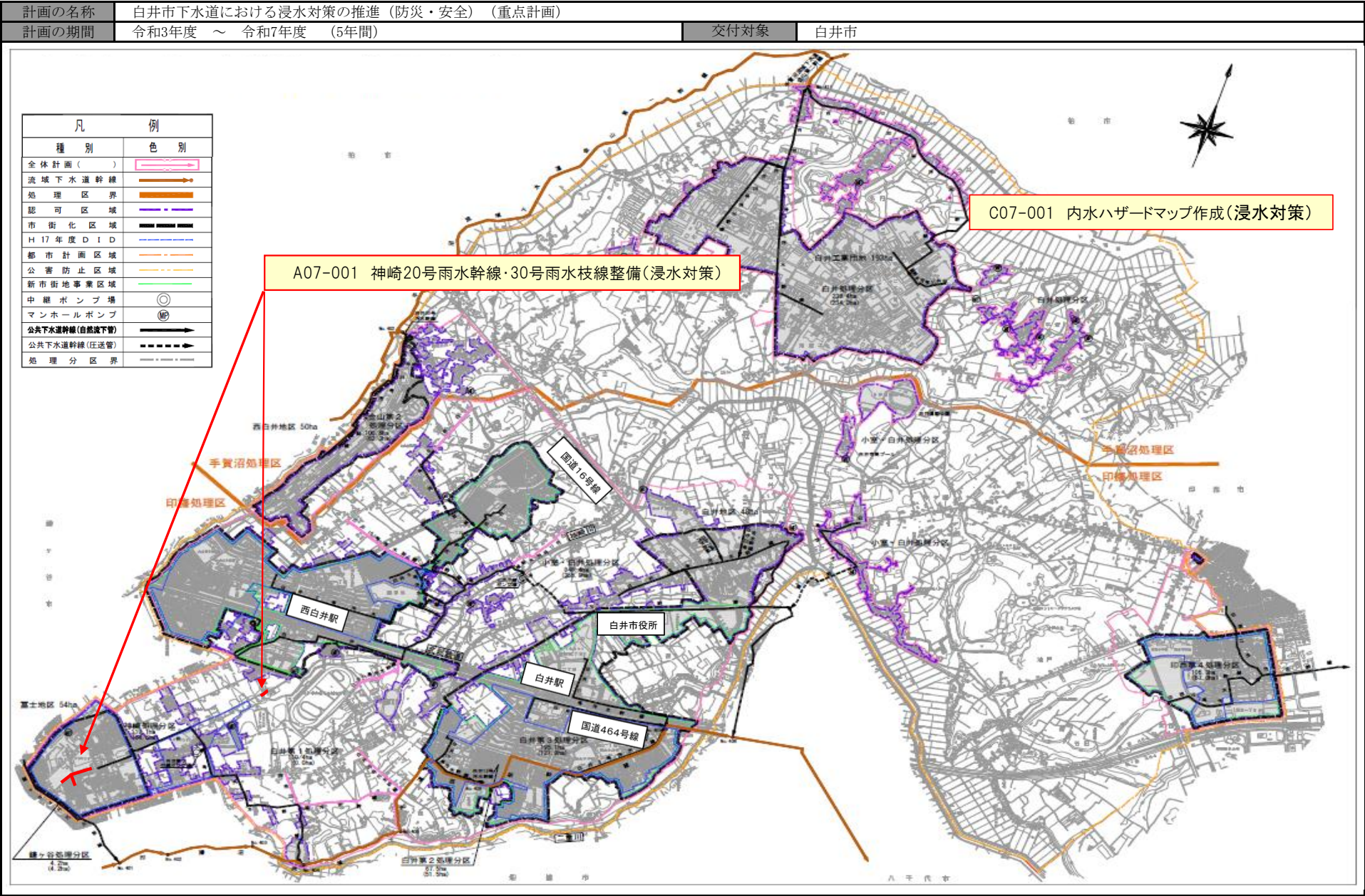
交付金の執行状況

(単位:百万円)

	R3	R4	R5	R6	R7
配分額 (a)	36.40	44.00	0.00	26.500	
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	36.40	44.00	0.00	26.500	
前年度からの繰越額 (d)	0	0	4.825	0	
支払済額 (e)	26.156	37.255	4.825		
翌年 度繰 越額 (f)	0	4.825	0		
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	10.244	1.920	0		
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	28%	4%	0.0%		
未契約繰越＋不用率が10%を超えている場合その理由	請負差金	請負差金			

※ 令和3年度以降の各年度の決算額を記載。
※ 令和4年度は、決算額が確定でき次第記載。

(参考様式3) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)



社会資本整備総合交付金チェックシート

(社会資本整備総合交付金 下水道事業)

計画名称：白井市下水道における浸水対策・改築更新の推進(防災・安全)(重点計画)

事業主体：白井市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
1) 上位計画との整合性	○
流域別下水道整備計画や下水道認可計画、市の総合計画と整合がはかれている。	
2) 地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の適合性。)	○
全県汚水適正処理構想と整合している。	
3) 緊急性を考慮した計画	○
処理機能の維持のための優先順位を考慮した計画となっている。	
4) 維持管理の課題への対応	○
経費の節減、効率的な管理、機能向上等の維持管理への対応が取られている。	
II. 整備計画の効果・効率性	
1) 整備計画の目標と定量的指標の適合性	○
事業計画認可と整合している。	
2) 定量的指標の明瞭性	○
数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	
3) 目標と事業内容の整合性	○
目標を達成するための事業規模を計画している。	
4) 事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	○
十分な事業効果が得られ、生活環境が改善する。	
III. 整備計画の実現可能性	
1) 円滑な事業執行の環境	○
事業熟度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性。	
市議会等での整備要望があり、都市計画決定している。	
2) 地元の機運	○
住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性。	